



題字 小野蒼州



こんにちは。PTA会長の高橋です。
8月22日―23日に茨城県水戸市で開催された「全国高等学校PTA連合会大会」にて、「人材育成の不易流行」という演題で、二所ノ関親方（第72代横綱・稀勢の里）の講演を聴く機会をいただきました。

「不易流行（ふえきりゅうこう）」とは、変わらない本質的なもの（不易）と、常に変化するもの（流行）を両立させ、伝統を重んじながら新しいものを取り入れていく考え方です。

二所ノ関親方は角界を引退後、早稲田大学大学院スポーツ科学科に入学し、科学的な稽古とスポーツビジネスを学びました。その結果、相撲の基礎運動である四股、つばう、すり足は徹底する一方で、相撲界の常識に囚われず、科学的な視点から一日3食（通常は2食）、朝稽古は朝食後の午前9時から行う（通常は朝食前6時）、相撲を取らない日を設ける（通常は毎日）、土俵を2面にして稽古の効率を上げるといった新しい稽古法を取り入れたそうです。その効果もあってか、今年の夏場所で、二所ノ関部屋から大関の大の里が誕生したことは記憶に新しいです。

この講演を聴いて、私が感じたことは2点あります。1点目は、横綱にま



「不易流行」

PTA会長 高橋 尚 裕

でなった二所ノ関親方が再度学び直すために大学院に入学したことです。年齢に関係なく、学ぶ姿勢は大切だと改めて感じました。特に、子育て中で忙しい保護者の皆様にとって、学校やPTAは身近な学びの場です。お忙しいかと思いますが、各学年では先生方がさまざまな研修を準備してくださっています。また、PTAでも地区や県で多様な研修を用意していますので、ぜひご参加ください。

2点目は、PTAも「不易流行」を意識し、子どもを中心に考える本質を忘れずに、時代に合った形で活動していく必要があると感じました。例えば、PTAの会議をZoomで行うことで参加者が増えるかもしれません。共働きが一般化し、時間の使い方も多様化している時代です。さまざまな可能性を検討し、できるだけ多くの保護者が関われるよう努めたいと思います。

最後に、五高PTAとしての一大会、立佞武多運行も、PTAの皆様のご協力のおかげで大きな事故なく実施できました。子どもたちが一生懸命踊り、囃子を奏で、祭りを楽しむ姿を見ることができました。引き続き、五高の子どもたちが少しでも多くの笑顔で学校生活を送れるよう、PTA活動へのご協力をお願いいたします。



「真髄は人間の感性」

校長 大瀬 幸 治

銘酒「瀬酒（だっさい）」の蔵元である旭酒造では、過去に杜氏が他の蔵元に引き抜かれたことがあったそうです。その時社長は「杜氏がいなくても同じ品質の酒を造れるようにしよう。そのためには徹底的な数値管理が必要だ」と判断し、生産工程や設備を大きく見直し、高級酒「純米大吟醸」だけを造るようになりました。しかし、米の量、水の量、時間などは厳格にシステム管理しましたが、洗米をはじめ酒造りに関して重要な工程である麹造りは完全な手作業が必要であったようです。この点において社長は「酒造りの98%は数値管理できる。しかし残り2%の人間の感性の部分がとても大切なのだ」と強調しています。やはりものづくりの神髄は「人間の感性」にあるのだと感じます。「機械化すべきところとそうでないところ」「数値化できるのとできないところ」を切り分け、核心の部分は人間の感性に委ねる手法です。

今やどんな業種でもITを活用しなければ仕事が成り立たない状況にあります。しかしITを過信したり、頼りすぎるのには疑問が残ります。ITでデータを100%分析し、戦略が遂行できるのであれば経営判断など不要になります。たとえ50%のデータ確度でも他社に先んじた判断や創造力を駆使してこそ、競争に勝てるものです。大事にしたいのは「人間の感性」です。人間の弱点をITをはじめとするデジタル技術で補強し、手先の器用さや創造力・好奇心などの人間にしかでき

ない特性を生かしていくこととする、人間を中心に置いた考え方です。社会に価値を提供するうえでは、ITに頼る部分はあるにせよ、人間の意志や思いが何より大切なもので、どういうものの見方、切り取り方をするのか、どこに価値や意味を見いだすのか、といった感性や技術こそが豊かな人間社会を築いていくうえでなくてはならないものだと思います。「近い将来、人間の仕事はAIに奪われるのではないか」といった意見もあります。しかし、どんなにAIが進化しようとも、人間の感性は最も重要な部分を担うものであり、AIには取って代われないものです。IT化が進む今だからこそ、感性をより洗練させ、感性を磨くべく努力が必要とされています。国内外の多様な人々との関わりを持ちながら探究心をもって多くの経験と研鑽を積んでいくことがますます重要になってきます。

本校はこれまで学校行事や地域活動をはじめ、大学や海外の高校との交流事業を行い、多様な見方考え方を身に付け、豊かな感性や表現力の育成に努めてきました。今年はSSH事業も新たに加わり、探究活動を一層充実させて新たな価値を創造する力の育成にも力を入れていきます。今後も生徒の可能性を引き出し、豊かな感性を育て、開花させられるよう努力して参ります。地域に必要とされる学校として、保護者や地域の皆様のご協力のもと精一杯教育活動を進めて参りますので、引き続きよろしくお願いいたします。

PTA研修旅行記

10月5日(土)にPTAの校外研修会が行われました。今年度は18名の方に参加していただき、今回は十和田市にある奥入瀬渓流、十和田湖周辺を散策してきました。当日は天気に恵まれ両方の観光名所ですばらしい景色を見ることができ、バスガイドさんの案内も非常に興味をそそられるお話しで移動中も非常に楽しくすごしました。

奥入瀬渓流では、まずバスの車内から滝や清流、様々な岩の形を眺め、その後歩道を歩きました。間近で見ると滝や清流は力強く、かつ美しい様子で心が洗われるような気持ちでした。

十和田湖では遊覧船に乗り、お屋敷は湖畔にあるお食事処、たかご屋さんでニジマス定食をいただきました。その後自由散策となり十和田湖神社へお参りました。神社で写真を撮ると龍が写り込むことがあるらしく、龍の写真を撮れた人は一生左うちわの生活（生活が豊かで気楽な生活）を送ることができそうです。今回参加された方の中でも写真に龍が写り込んだ人もいたのかいとお聞きしました。

研修旅行に参加された方全員心身ともにリフレッシュでき、よい一日になったのではないかと思います。来年度も多くの皆様のご参加をお待ちしておりますので是非ご検討ください。



PTA入会式



委員会活動

今年度の各委員長はこちらの方々です。
各委員会の活動を紹介していただきました。



健全育成委員長
工藤 宏昭



研修委員長
山形 裕子



広報委員長
長谷川優希

何も貢献できないまま健全育成委員として2年が経ち、今年度からまさかの委員長就任。これからは少しでも役に立てれるよう奮起一番したものの、職務を全うすることができず、すでに6月になろうとしてました。そんな中、我が委員会主体の「保護者による挨拶運動」に直接携わることができました。参加いただいた保護者の皆様と先生方には大変お世話になりました。

子ども達や先生方は、見慣れた日常の登校風景ではありますが、我々保護者としては、現代の高校生の登校を、近くで拝見できるまたとない機会でした。そして、最強のコミュニケーションツールである「挨拶」を現代の子は活かしているのか？とても気になりました。

元気に挨拶する子は人の気持ちを和らげてくれます。年代に関係なく挨拶はやはり最強です。照れくさそうにしている子、眠気が冷めやらない子などいきましたが、しっかり挨拶をしていると感じ取れることができました。自分でやろうと決めればすぐできる。すぐに好感度が上がる。挨拶の価値をしっかりと理解している。さすがです。

子どもの健全育成とはゴールのない永遠のテーマです。挨拶は小さな一つでありますが、これからも最強ツールとして人生に役立ててほしいです。

最後に話は変わりますが、マチコミも最強のツールですね。

今年度研修委員長を務めさせていただきました山形と申します。昨年一年間研修委員として活動させていただいた時、前研修委員長の奈良さんのお人柄に惚れ込んでしまいました。パワフルで周りの方まで笑顔にする、とにかく一緒にいて楽しく、いつ会っても元気いっぱいです。おかげでPTA活動が楽しく、楽しさの延長線上で私自身が誰かの役に立つのであれば嬉しいことだと思い、微力ですが務めさせていただいております。

ところで、娘が入学して、何年ぶりかで足を踏み入れた、五高の校舎。私にとっても母校です。あれこれ変化もありつつ、校舎がいろいろ語りがけてくる気がします。お世話になった先生方やクラスメートの思い出が蘇り、まるで気持ちが若返るパワースポットにいるような気分、とてもありがたいです。これから研修会や研修旅行で、保護者同士が楽しくふれあって、子ども達のがんばりを後押しできればいいなと願っています。



始めまして。本年度、広報委員長を務めさせていただくことになりました長谷川です。2年間、名前ばかりの広報委員だったため、委員長という大役が務まるのか不安を感じています。スマホが手放せない子どもたちが多くなり、マンガもスマホで読むようになり、紙面上の克字を読む機会が少なくなっているように思います。このような中で、多くの方々に読んでいただけるような広報誌を目指しています。

広報委員会の主な活動は、年に2回この広報紙「はるにれ」を発行することです。広報紙には学校行事や部活動などの様子を保護者のみなさまにお伝えするだけではなく、保護者のPTA活動の様子もお伝えすると共に、地域の方々にも五高生の活気ある様子をお伝えする役割があります。また、特集では生徒や先生、保護者の三者三様の意見を聞くことができるのも学校の広報紙の楽しみの一つです。

広報委員会は少人数ではありますが、学校と家庭、そして地域ともつながることができるような情報を発信していきたいと思っています。これからも広報紙「はるにれ」を「愛読いただければ幸いです。

各学年部会

今年度の学年部会長はこちらの方々です。皆さんからご挨拶をいただきました。



ご挨拶
一学年部会長 桑田 剛俊

日頃より、五所川原高校でのPTA活動にご理解とご協力を賜り心より感謝を申し上げます。令和6年度1学年部会会長を仰せつかっております桑田と申します。

不慣れな学年部会長という役職で不安の中でのスタートでしたが、保護者の皆様・先生方のご協力により学年部会の活動を何とか進めさせていただいております。

さて、青年期も折り返し時期に入ろうという年齢になった1学年の生徒たちは、これから大人になっていく過程で社会に出た先の人生までを視る、最も大切な時期を迎えようとしています。そして、私たち大人がしっかりとサポートし大切な子供たちを正しい方向へと導いていかなければならない時期でもあると思います。

その為に保護者の皆様には学年部会の活動にご参加いただく事で、先生方と進路情報や生徒の状況等を共有し生徒一人ひとりに寄り添ったサポートができるのではないかと考えておりますので、今後PTA諸活動へご参加いただけましたら幸いに存じます。

結びに同じ高校に通う子供を持つ保護者として皆様とご縁があった事に感謝し、皆様と共に子供たちの成長を支えていきたいと考えておりますことをお伝えし、私からの挨拶とさせていただきます。



受験0学期スタート
一学年部会長 野崎 厳

早いもので、昨年4月に入学した子供達は二年生となり高校生活の折り返しを迎えました。この1年間でたくさんのお出来事がありました。昨年私が「はるにれ」に載せた文章では円相場1ドル150円を突破したとありましたが今年は一時161円となり38年ぶりの円安水準となりました。

また、世間では衆議院選挙で話題が持ちきりですが来年の参議院選挙からは誕生日が早い生徒達は選挙権を持つこととなります。その際はぜひ投票に行ってくださいと思います。

前置きが長くなりました。二学年の部会長を務めさせて頂いております野崎と申します。二学年は9月13日に学年部会が行われました。主な内容としては高校生活最大の行事である修学旅行についての説明が行われました。参加された保護者の方々は真剣に旅行会社及び先生方の説明を聞いていました。

ほとんどの生徒達は最後になるかもしれない修学旅行を大いに楽しんできたと思います。そして、無事修学旅行から帰ってきた二年生の皆さん、これから本番が始まります。下山先生がお仰っていた通り受験0学期のスタートです。皆さんの健闘をお祈りしています。

最後になりますが、生徒たちはこの大きな変革の中で高校生活を送らなければなりません。子ども達は来年には成人となり選挙権を得ます。そして社会的責任も求められます。二学年部会としてはその基礎作りのお手伝いを先生方と協力して行って行きたいと思っています。そのためには保護者の皆様の力が不可欠ですのでどうぞご協力のほどお願い致します。



次のステップへ
三学年部会長 葛西 正美

2024パリオリンピック・パラリンピックが終わりました。日本選手団の活躍により感動の日々が続き、改めてありがとうと言いたいと思います。ただ、微妙な判定に「なぜ？」と、思わず声が出てしまった場面もありました。そんな時でも日本人選手の理性を保った冷静な態度や応援も含んだマナーの良さが世界中から賞賛されていました。生徒の皆さんも学校生活、部活動等でそういったマナーなどが培われていると思います。ぜひ、そのような大人に成長してほしいと思います。

父母の皆様におかれましては、学校と家庭でのサポートご苦労さまです。今年度、三学年部会でも何かできないか検討中です。その際にはご協力、お手伝いをお願いいたします。

今年度は、五高祭、立役武多などでコロナ禍で見ることができなかった生き生きとした生徒の表情が見ることができました。目標に向かうための充電ができたのではないのでしょうか。充電したパワーで次の目標に向かって進んでください。結びに、アメリカの文化人類学者、マーガレット・リードの言葉を紹介します。

「未来は今である」。今この時々を大切にしてください。



立 倭 武 多 特集

7
いざ出陣

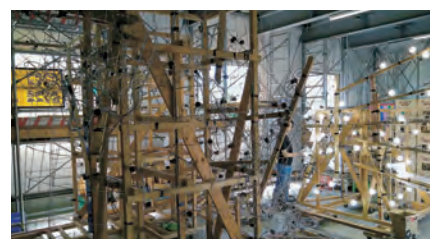


5
色塗り

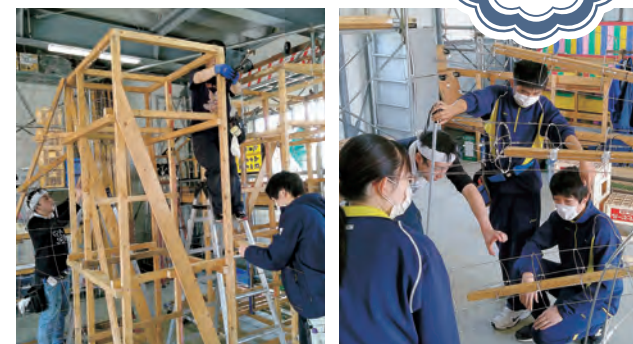


6
組立て

2
配線



1
骨組み



4
高欄



3
紙貼り



五高スポーツ フェスティバル



オープンスクール



吹奏楽定期演奏会



部活動紹介



文化祭



入学式



遠足



アクティブ
五高生！





令和6年度 前期PTA・PTA後援会会務報告

月	日	内 容	場 所
4月	7日(日)	1学年PTA入会式	本 校
	11日(木)	第1回三役会・第1回役員会	本 校
	18日(木)	高P連西北地区協議会 第4回三役会・役員会	木 造 高
	21日(日)	PTA三委員会組織会 (各第1回委員会)	本 校
		PTA・PTA後援会総会	本 校
5月	10日(金)	高P連西北地区協議会総会	プラザマリユウ五所川原
	24日(金)	青森県高P連総会	アップルパレス青森
6月	7日(金)	高P連十和田大会	十 和 田 市
	8日(土)	2学年PTA①	本 校
	10日(月)	保護者による挨拶運動①	本 校
	11日(火)	高P連西北地区研修委員会 第1回理事会	五 一 高
	22日(土)	3学年PTA①	本 校
	25日(火)	広報紙づくり研修会	県総合社会教育センター
7月	4日(木)	東北高P連山形大会(やまぎん県 民ホール7/4~7/5)	山 形 県
	6日(土)	1学年PTA①	本 校
	13日(土)	五高第2回研修委員会	本 校
	14日(日)	五高第2回広報委員会	本 校
	18日(木)	高P連西北地区協議会 第1回三役会・役員会	五所川原工科高
8月	4日(日)	五高立佞武多3学年 (PTA・健全育成委員)	市内運行コース
	6日(火)	五高立佞武多1学年 (PTA・健全育成委員)	市内運行コース
	7日(木)	五高立佞武多2学年 (PTA・健全育成委員)	市内運行コース
	8日(木)	五高立佞武多同窓会 (PTA・健全育成委員)	市内運行コース
		第1回高P連単位PTA会長会議 (アップルパレス青森)	アップルパレス青森
	22日(木)	全国高P連茨城大会 (水戸市22~23)	水 戸 市
9月	9日(月)	保護者による挨拶運動②	本 校
	13日(金)	2学年PTA②	本 校
	25日(火)	県高P連健全育成・研修委員会 合同研修会	県 総 合 社 会 教 育 セ ン タ ー
10月	5日(土)	五高研修委員会校外研修会	十 和 田 市
	8日(火)	高P連西北地区協議会研修会 (プラザマリユウ五所川原)	プラザマリユウ 五 所 川 原
		五高研修委員会校内研修会 (プラザマリユウ五所川原)	本 校
	11日(金)	1学年PTA②	本 校

PTA・PTA後援会今後の予定

月	日	内 容
11月	6日(水)	県高P連進路研修会
	16日(土)	P T A 第 2 回三役会・中間監査
	29日(金)	P T A 報 誌 『はるにれ』 発行
		五高第 4 回広報委員会
12月		高P連西北地区協議会 第2回三役会・役員会
1月		高P連西北地区協議会情報交換会
2月	10日(月)	高P連西北地区研修委員会 第2回理事会
		五高P T A 研修・健全育成・広報委員会 合同反省会
		健全育成委員会五所川原ブロック 第2回理事会
		高P連西北地区健全育成委員会 第2回理事会
	14日(金)	第2回単位PTA会長会議(アップルパレス青森)
3月	27日(木)	PTA広報誌『はるにれ』発行
		高P連西北地区協議会 第3回三役会・役員会
	11日(火)	PTA・PTA後援会 第3回三役会・第2回役員会

令和6年度 PTA・後援会役員

校 長	大 瀬 幸 治	
会 長	高 橋 尚 裕	
副会長	葛 西 正 美	3 学 年 部 会 長
〃	野 崎 厳	2 学 年 部 会 長
〃	桑 田 剛 俊	1 学 年 部 会 長
〃	鈴 木 勝	教 頭
〃	工 藤 宏 昭	健全育成委員長
〃	山 形 裕 子	研 修 委 員 長
〃	長谷川 優 希	広 報 委 員 長
会 計	渋谷 千津子	
〃	小 野 厚	
監 事	小山内 美 佳	3 学 年 監 事
〃	三 戸 靖 史	2 学 年 監 事
〃	前 田 輝 美	1 学 年 監 事

「はるにれ98号」をお読み
いただきありがとうございます。
私は今回はじめて立佞武多運
行に参加して、汗だくで頑張っ
ている生徒たちの姿、先生や保
護者の方々を間近で見ることが
でき本当にいい体験をさせていただきました。普段な
かなか見ることができない学校での生徒たちの頑張り
や、輝きが写真を通してお伝えできれば幸いです。
今号の発行にあたりお忙しい中ご協力いただいた皆
様に心より感謝申し上げます。次号の発行もご協力よ
ろしく願いいたします。 (広報委員 能正)